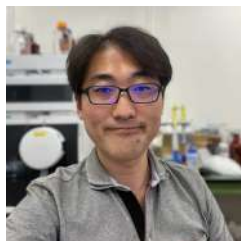


化学修飾に立脚した環境曝露と腸内細菌の新たな関係

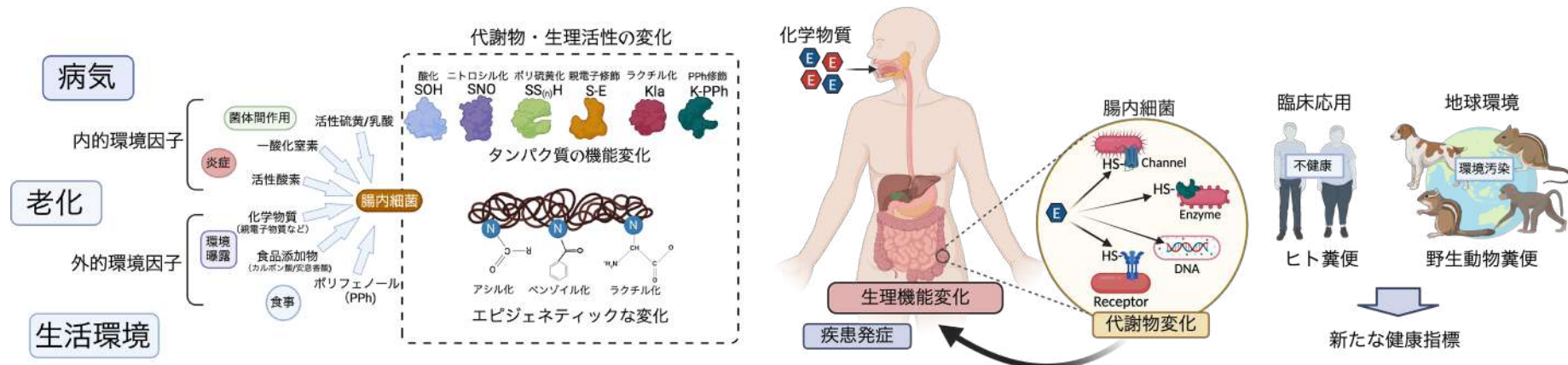
～腸内細菌叢の量的変化から質的变化へ～



ふりがな あきやま まさひろ
氏名 : 秋山 雅博
所属・部門 : 慶應義塾大学 薬学部・創薬研究センター
職位 : 特任講師
専門分野 : 付加体科学・衛生化学

<研究概要>

私たちは生涯を通して様々なストレスに曝露されている。例えば、医薬品、食品成分、環境中化学物質などの外的ストレスや加齢や炎症・酸化などの内的ストレスがある。これら内外環境のストレスを感知応答する生体システムとしてタンパク質の化学修飾がある。タンパク質の化学修飾は生理機能の重要な制御機構のひとつであり、正常な細胞生物学と病因のほぼ全ての側面に影響を及ぼしている。一方で、腸内細菌は様々な代謝酵素を有し、それらが産生する代謝物は消化管内を超えて全身臓器機能に影響することから近年、腸内細菌叢は「新たな代謝臓器」と考えられている。そこで、食品成分・環境物質曝露や加齢・病気などによる腸内環境の変化が腸内細菌にどう影響するのか？腸内細菌タンパク質の化学修飾を基軸に研究している。



<略歴>

2008年 東京農業大学 応用生物科学部 生物応用化学科 卒業、2010年 筑波大学大学院 フロンティア医学専攻 修士課程修了、2014年 筑波大学大学院 生命システム医学専攻 博士課程修了、2014年 筑波大学 医学医療系 助教、2020年より 慶應義塾大学薬学部創薬研究センター 特任講師